

|        |              |     |     |        |     |
|--------|--------------|-----|-----|--------|-----|
| 教科(科目) | 芸術(音楽Ⅰ)      | 単位数 | 2単位 | 学年(学類) | 1学年 |
| 使用教科書  | 教育芸術『MOUSAⅠ』 |     |     |        |     |
| 副教材等   | プリントなど       |     |     |        |     |

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

|                |  |
|----------------|--|
| グラデュエーション・ポリシー | ①自分と社会の関係性を見つめ、他と協働しながら取り組む力を育成します。<br>②複雑化する社会や地域に関心を持ち、様々な考えを受け入れる力を育成します。<br>③好奇心をもって自ら学び続け本質を見極めようとする姿勢と力を育成します。                           |
| カリキュラム・ポリシー    | ①あらゆる進路に対応できるよう3つのカリキュラムを設定します。<br>②少人数制により個々にあったきめ細かな指導を行います。<br>③地域と連携し、地域資源を活用した教育活動を行います。<br>④生徒が興味をもった題材を地域の大人が伴走しながら探究するプロジェクト学習に取り組みます。 |

2 学習目標

|     |  |
|-----|--|
| (1) | 曲想と音楽の文化・歴史を理解するとともに、音楽表現に必要な技能を身につける。基礎的なことに加えて応用的な内容まで踏み込んだ展開を行います。  |
| (2) | 自分なりの音楽表現を工夫することや、音楽を評価し音楽の良さを感じ取れるようにする。歌唱活動では歌い方の基本を確認し、様々な楽曲を通して他の各分野と関連付けながら特徴や表現を学ぶことを目指します。              |
| (3) | 幅広い活動に取り組み、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽により生活や社会を明るく豊かにしていく態度をやしなう。器楽演奏の実習では基本的な音楽的知識・技能を着実に身に付けながら、表現する楽しさを味わうことを目指します。 |

3 指導計画

| 月       | 単元                           | 教材又は項目                                      | 学習活動(指導内容)  | 評価の方法                   | 時間 |
|---------|------------------------------|---|---|-------------------------|----|
| 4~5     | 歌い方の基礎を勉強しよう<br>(歌唱・創作)      | ○校歌<br>○Ave Maria<br>○翼をください<br>○負けないで      | 個々に応じた発生を確認しながら歌う。ハーモニーが綺麗に歌えているか確認する。(他のグループに聴いてもらう。タブレットで録音して確認する)                          | 自己評価<br>観察<br>実技テスト     | 25 |
| 6       | クラシック音楽を鑑賞しよう<br>(鑑賞)        | ○バレエ組曲「火の鳥」<br>教科書以外から<br>○ディズニーDVDよりファンタジア | 時代的背景を理解し曲の情景をイメージする。タブレット等を使用し内容を調べ、クラスルームで提出する。   | 自己評価<br>観察<br>提出レポートの確認 |    |
| 7~8     | 文化祭に向けてプログラムを考えよう<br>(歌唱・器楽) |   | 出演形態を考える(独奏・独唱・アンサンブル・合唱・合奏など)。プログラム作成からリーダーの選出、リハーサルの計画まで立案する。                               | 観察<br>自己評価              |    |
| 9・10・11 | 楽器の基礎・ギター、ドラムを学ぼう<br>(器楽・創作) | 教科書から<br>○日曜よりの使者<br>○バンドアンサンブル106ページ       | ◎ギターダイアグラムを見ながら性格に音が出るか確認をする。綺麗な音を出すために重要なことは何か？研究する。<br>◎ドラムセットで基礎となるエイトビートのリズムを覚える          | 観察<br>自己評価<br>自己評価      | 25 |
|         | 文化祭に向けて練習を発展させよう<br>(歌唱・器楽)  |   | 度胸付けをする授業がメインになる。アドバイスをしながらアンサンブルを勉強する。他のメンバーにも聴いてもらい感想をもらう。                                  | 実技テスト<br>自己評価<br>観察     |    |
| 12・1    | 日本音楽の基礎を学ぼう 琴・三線<br>(器楽・創作)  | ○安波節<br>○てんさくめ花<br>○海の声<br>○さくら             | 日本の伝統文化を感じ取り、演奏方法を勉強する。三線の指使い(勘所)を正確に勉強する。周囲とアンサンブルが出来ることを目指す。                                | 観察<br>自己評価<br>提出レポートの確認 | 20 |
| 2・3     | コンサートを企画しよう<br>(歌唱・器楽・創作)    |   | ミニコンサートを企画しよう。お世話になった先生方の前で演奏します。合唱・独唱・独奏など、最低2回出演するプログラムを立案します。<br>最後に感想をタブレットからクラスルームに投稿する。 | 観察<br>自己評価<br>提出レポートの確認 | 20 |

1単位時間は50分。

70

4 評価の観点の趣旨

A・表現(歌唱・器楽・創作)

| 観点 | (1) 知識・技能  | (2) 思考・判断・表現   | (3) 主体的に学習に取り組む態度                  |
|----|--|--|------------------------------------|
| 趣旨 | ・曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わりについて理解している。<br>・言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解している。<br>・様々な表現形態による歌唱表現の特徴について理解している。<br>・創意工夫を生かした歌唱表現、器楽表現、創作表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けている。 | ・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもって歌唱表現、器楽表現、創作表現を創意工夫している。 | ・主体的・協働的に歌唱・器楽・創作の学習活動に取り組もうとしている。 |

B・鑑賞

| 観点 | (1) 知識・技能   | (2) 思考・判断・表現   | (3) 主体的に学習に取り組む態度            |
|----|---|--|------------------------------|
| 趣旨 | ・曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解している。<br>・音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりについて理解している。<br>・我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴について理解している。 | ・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。 | ・主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 |

5 評価方法

A・表現(歌唱・器楽・創作)

| 観点   | (1) 知識・技能(30%)                      | (2) 思考・判断・表現(20%)               | (3) 主体的に学習に取り組む態度(50%)  |
|------|-------------------------------------|---------------------------------|-------------------------|
| 評価方法 | 曲の持つ音楽上の特性をよく理解し適切な音楽表現を工夫することができる。 | 曲に対して自分なりの表現を考え、演奏に結び付けることができる。 | 主体的に歌唱・器楽の学習活動に取り組んでいる。 |

B・鑑賞

| 観点   | (1) 知識・技能(30%)       | (2) 思考・判断・表現(20%)            | (3) 主体的に学習に取り組む態度(50%)  |
|------|----------------------|------------------------------|-------------------------|
| 評価方法 | 音楽史・楽器の性質について理解している。 | 音楽の仕組みを理解し、感覚で理解ができ美しさを味わえる。 | 主体的に歌唱・器楽の学習活動に取り組んでいる。 |

6 担当者からの一言

中学で身に着けた歌唱や読譜の基本をさらに発展させます。また、さまざまな楽器の実習を体験してもらいます。

実習教科なので、取り組み(参加状況)を重視します。1年間を通じて素直な気持ちでいろいろなことを吸収して、人前で堂々と表現する力を身に付けてほしいと思います。